

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-157572

(43)公開日 平成10年(1998)6月16日

(51)Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

F I

B 6 0 R 25/10

6 0 7

B 6 0 R 25/10

6 0 7

G 0 8 B 13/00

G 0 8 B 13/00

B

13/12

13/12

審査請求 未請求 請求項の数4 F D (全 5 頁)

(21)出願番号

特願平8-330167

(71)出願人

593042823

後藤 宏志

千葉県柏市松葉町5丁目1番地15棟104号

(22)出願日

平成8年(1996)11月27日

(72)発明者

後藤 宏志

千葉県柏市松葉町5丁目1番地15棟104号

(54)【発明の名称】 防犯警報装置付カーカバー、貯水槽付カバー収納ケース、及びカバー回転装着用巻き直し器

(57)【要約】

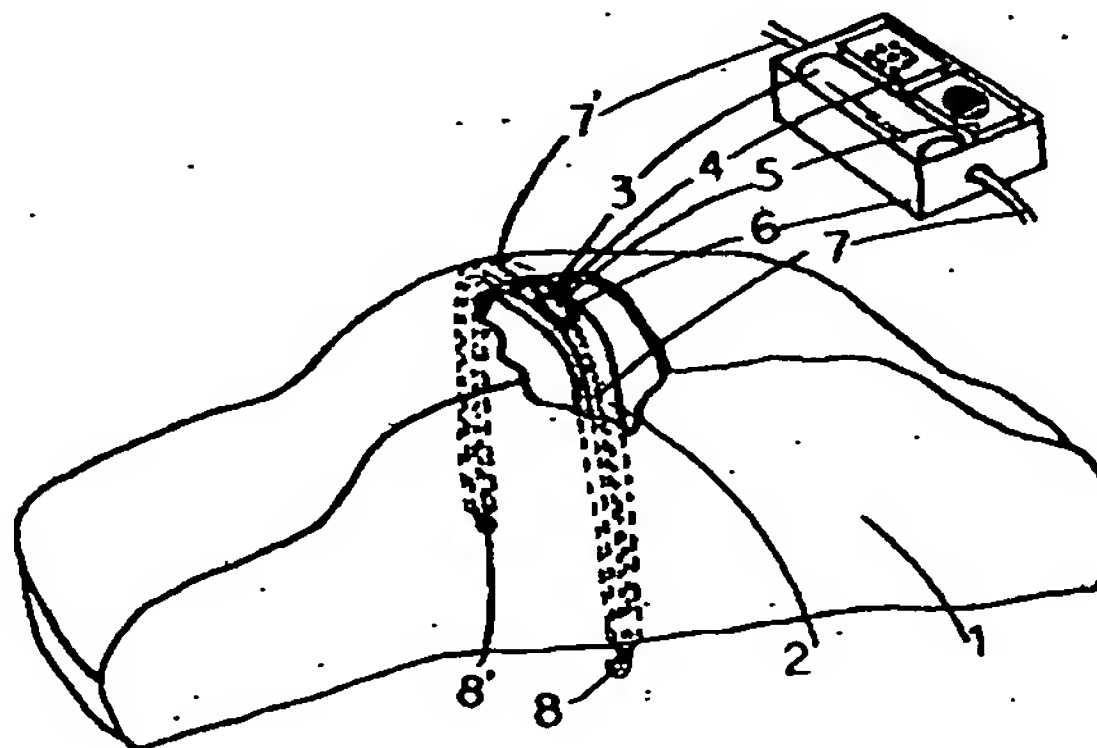
【課題】 (A) 駐車中の車を狙おうとする不法侵入者が、装着してあるカーカバーに手をかけたたん、ブザーが鳴りライトが点灯して、侵入者を威嚇警報する。

(防犯警報装置付カーカバー)

(B) カバー格納箱の底を仕切って10l程の貯水槽とし、緊急の水使用、レジャーの水使用に備える。(貯水槽付カバー収納ケース)

(C) 装着中風に飛ばされたりして面倒なカバー掛けを、車上を転がして早く楽に出来るよう、巻き直し器を使ってカバーを装着順に丸く固く巻き直して用意しておく。(カバー回転装着用巻き直し器)

【解決手段】 カーカバー1に警報ブザー4やスイッチ付鉤止具8を埋めこみこれを車体に掛け止めする。またこれを格納するカーカバー収納ケース11の底を仕切って、貯水槽13を形成し、ポンプ16を取付ける。さらにこのケースの蓋17にハンドル19つきの軸棒20を渡しかける。



BEST AVAILABLE COPY

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】イ. カーカバー1の中央部を左右に、長尺布をあてて縫い付け、筒2をつくる。

ロ. 乾電池3、警告ブザー4、警報灯5を収めたボックス6はその外部へ配線7、7'を伸ばし、その先端にはスイッチ付鉤止具8、8'を繋いでいる。

ハ. 筒2の中に、ボックス6と配線7、7'を封入してカーカバー1に止着するが、スイッチ付鉤止具8、8'は筒2より露出し遊着させている。以上のようにして構成した、防犯警報装置付カーカバー。

【請求項2】イ. 乾電池3、警報ブザー4、警報灯5を収めたボックス6の背に、車内掛止具9を取りつける。

ロ. ボックス6より外部へ伸ばした配線7は、保護クッション10にくるまれ、先端にスイッチ付鉤止具8を繋いでいる。以上のように構成した付属具からなる、防犯警報装置付カーカバー。

【請求項3】イ. カーカバー収納ケース11の底部を、弧状の仕切板12で仕切って、貯水槽13を形成する。

ロ. 貯水槽13の壁を開口して、取水口14および放水口15を設け、またカーカバー収納ケース11にポンプ16を取付ける。以上のように構成した、貯水槽付カーカバー収納ケース。

【請求項4】カーカバー収納ケース11の蓋17などの構成体に、軸受18を放置し、この軸受18に、ハンドル19を取付けた軸棒20を渡しかけることを特長としたカバー回転装着用巻き直し器。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明はカーカバーの次の3点に関するものである。

(A) 防犯警報装置を取りつけたカーカバー、(B) その底部に貯水槽とポンプを備えたカーカバー収納ケース、(C) カーカバーをボデー上に回転させながら装着するためのカバー巻き直し器。

## 【0002】

【従来の技術】これら3点の従来の技術は次のようなものであった。

(A') 車につける警報装置は、微弱電波警報器、ハンドル錠など車内にセットするものであった。

(B') カーカバーの収納ケースと、非常用に車載する水の容器は別個に用意された。

(C') 畳んであるカーカバーを装着する時は、全体を車の上に広げて、あちこち掛け止める場所を確認しながら行なった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】このそれぞれ3点には次のような問題点があった。

(A') 従来の車の警報装置は、車上荒らし等が室内に入って始めて作動するため、窓ガラスを破られる又はドアのキーシリンダーを壊されるなど、侵入者が警報

で逃げ出す前に、既に車の一部を壊されていることがあった。

(B') カーカバーを積んだまま走る車はあっても、水の車載用容器を備える車は少なく、ドライブ先で緊急の必要に困ることがあった。

(C') カバーを車上に広げた時風に飛んだり、カバーの前後を間違えて車に置いたりし、装着に手間どった。

## 【0004】

10 【課題を解決するための手段】本発明は自動車およびそれに掛けるカバーの上記問題点を解決するため、①～④の手段を構築した。図によりこれを説明する。

【0005】① 防犯警報装置付カーカバーのひとつの手段として、カーカバーそのものが警報装置とする構成がある。まずカーカバー1の中央部を左右に渡して、一枚の長尺布をあてて縫い付け、筒2をつくる。次に乾電池3、警報ブザー4、警報灯5を収めたボックス6を用意するが、このボックス6はその外部へ配線7、7'を伸ばしており、更にその配線7、7'の先端にはスイッチ付鉤止具8、8'を繋いでいる。最後に筒2の中に、ボックス6と配線7、7'を封入してカーカバー1に止着するが、スイッチ付鉤止具8、8'は筒2より露出し遊着させている。(図1)

【0006】② 防犯警報装置付カーカバーの他の手段として、使用する付属具が警報装置とする構成がある。まず乾電池3、警報ブザー、警報灯5を収めたボックス6の背に、車内掛止具9を取付ける。次にボックス6より外部へ伸ばした配線7は、保護クッション10にくるまれ、その先端にスイッチ付鉤止具8を繋いでいる。

30 (図2)

【0007】③ 貯水槽付カーカバー収納ケースの手段として、まずカーカバー収納ケース11の底部を、弧状の仕切板12で仕切って、貯水槽13の空間を形成する。次に貯水槽13の壁を開口して、取水口14および放水口15を設け、またカーカバー収納ケース11の一部にポンプ16を取付ける。(図3)

【0008】④ カバー回転装着用巻き直し器の手段として、カバー収納ケース11の蓋17などの構成体に、軸受18を設置し、この軸受18に、ハンドル19を取付けた軸棒20を渡しかける。(図3)

## 【0009】

【発明の実施の形態】以上の4つの手段を講じたことにより、次の①'～④'の作用をみることができる。

【0010】①' カーカバー1そのものに、警報ブザー4、警報灯5、スイッチ付鉤止具8など電気器具が埋め込んであり、カーカバー1を車体側の掛け止め箇所へ掛けて装着した時、これ等電気器具をセット状態とすることができる。

50 【0011】②' カーカバー1を装着する時の車体側の掛け止め箇所そのものが、警報ブザー4、警報灯5、ス

スイッチ付鉤止具8など電気器具を包括したものであり、カーカバー1をこれへ掛けて装着した時、これ等電気器具をセット状態とすることができる。

【0012】③カーカバー1をカバー収納ケース11に入れて庫が移動する時は、必然的に貯水槽13も同移動する。また、カーカバー1を丸く巻いて収納ケース11に入れた時生ずる、収納ケース11の底部の「U」形の余り空間を、機能的な活用場所とする。

【0013】④いったんカバー収納ケース11に収めたカーカバー1を、装着しやすい順に、軸棒20に固く丸く巻き直す。

【0014】

【実施例】この発明の実施例を図をみながら説明する。第4～第6図が防犯警報装置付カーカバーの実施例、第7図が貯水槽付カバー収納ケースの実施例、そして第8図がカバー回転装着用巻き直し器の実施例を表わしている。

【0015】第4図が防犯警報装置付カーカバー第1の実施例である。カーカバー1の中央部を左右に端まで横断して、長尺布で筒2を形成している。一方、別途用意のボックス6は筒2のほぼ中央に置いてカバー1に固定されるが、その内部に乾電池3、警報ブザー4、警報灯5を収めて、ブザーが鳴る又はライトが光る構造としている。この電気装置のON=OFFスイッチは、ボックス6より外へ左右に延びる配線7、7'の先端、即ちスイッチ付鉤止具8、8'に在り、筒2より顔を覗かせる程度に遊着して取付けられる。この実施例を実際に車に行う時は、カーカバー1を車に掛ける、そしてスイッチ付鉤止具8、8'を車体の左右の突起物へ掛けて完了と、通常の車のカバー掛けと変らない。ただひとつ違うのは、最後にスイッチ付鉤止具8、8'の操作により、全体の電気装置を作動可能状態にして車を離れることだけである。これで不法侵入者22を警報するセットアップ状況となるのである。尚、カバー掛けする車は屋外に置くのが通常であるから、乾電池3はソーラー電池も考えられ、又スイッチ付鉤止具8、8'に収められているON=OFFスイッチは、形や力を検知するセンサーにすることも考えられる。

【0016】第5図が防犯警報装置付カーカバー第2の実施例である。ここでは長尺布をより短いものとして、これをカーカバー1の中央でなく周辺部に配置して、筒2を形成している。又この中へ封入するボックス6は、外部へ1本だけ配線7を延ばし、従ってその先のスイッチ付鉤止具8も1個だけである。この実施例では以上の筒2およびボックス6等を、カーカバー1の周辺部へ複数用意するとしている。他は第1の実施例と同様である。

【0017】第6図が防犯警報装置付カーカバー第3の実施例である。乾電池3、警報ブザー4、警報灯5を収めたボックス6の背に、車内掛止具9を取付ける。この

ボックス6より外部へ配線7を伸ばしているが、配線7は保護クッション10にくるまれ、その先端にスイッチ付鉤止具8を繋いでいる。この実施例を実際に車に行う時は、まず車内掛止具9の利用により、ボックス6を、車内のピラー、シート、ドア、フロア等に掛止めする。従って車内掛止具9の形状や材質は、「コ」の字型金具、ベルト、マグネット、吸盤、ゴム、ネジ、接着剤などが考えられる。この実施例を実際に車に行う時は、まずドアと車体の間に保護クッション10を挟み、スイッチ付鉤止具9を車外へ出してドアを閉める。保護クッション10の材質はウレタンフォーム、ゴムなど弾力性のもので作られているので、挟まれただけで強く締めつけられ動くことはない。カーカバー1を車に掛けてその端をスイッチ付鉤止具8に掛け止め、最後はスイッチ付鉤止具8を操作し、電気装置を作動可能状態にし車を離れることは第1の実施例と同じである。

【0018】第7図が貯水槽付カバー収納ケースの実施例である。カーカバー収納ケース11の底部を弧状の仕切板12で仕切って、貯水槽13のスペースを作っている。弧状にするのは、「特願平5-311062 自動車カバーの収納ボックス」の如く、カバーはケースやボックスに収める場合丸く巻くことが多く、底がU状でも問題はなく、むしろ貯水槽13の容量が多くとれてよい。しかし仕切板12を平坦な板にするのも一向にかまわない。次に貯水槽13の壁を開口して、取水口14および放水口15を設け、且つカーカバー収納ケース11の一部にポンプ16を取付けている。この実施例を実際に車で行う時は、取水口14に水を注水する、或いはポンプ16を利用し、放水口15に着装したホース21より水を吸いあげて貯水槽13に水を満たす。これでカーカバー収納ケース11を積んでいる限り、水の心配なしのドライブができる。

【0019】第8図がカバー回転装着用巻き直し器の実施例である。カバー収納ケース11の蓋17などの構成体、或いはこれ等から伸ばした支持物に軸受18を設置する。そしてこの軸受18に、ハンドル19を取付けた軸棒20を渡しかけるとしている。この実施例の使用法について説明する。元来車のカバーは箱などに丸めて置かれ、或いは巻取り軸に、カバーの後端を軸心にして巻かれている。通常カバー掛けする時は、車の後側から掛けていくので、このままでは掛けづらい。従ってカーカバー収納ケース11に、上記の状態のままとなっているカーカバー1を、前端を軸心にして軸棒20に巻き直すのである。この作業でカーカバー1の後端が一番上にきて、カバー掛けを車の後から行う時、順序で巻き戻しながら掛けられてよい。尚軸棒20に巻かれたカーカバー1を抜く時であるが、軸棒20は片端だけの一点支えで軸受18に支えられている、或いは両端の二点支えでも、軸棒20は軸受18から取りはずし可能としているので、いずれの場合も巻き直したカーカバー1を抜き取る



のは簡単である。

【0020】

【発明の効果】この発明は次のような優れた効果を発揮する。

〔A〕車上荒らし等車への侵入者を撃退する。侵入者が車内へ入ろうとしてカーカバーを脱したとたん、警報ブザー4が鳴り、警報灯5が点灯して周辺に異常事態を知らせ、侵入者を警報撃退する。従来のように窓ガラスが破られることはない。

〔B〕常に10～15lの水を車載でき、レジャー使用、緊急使用などに困らない。貯水槽13の水は、ポンプ16の圧力により、ホース21より自由に放水できる。勿論水10lあれば簡単な洗車も可能である。尚、副次的な効果として、カーカバー収納ケース11を洗車などで踏み台として使う時、水の重さで台が安定して良い。

〔C〕カバーを車上に転がして装着でき、途中でカバーが風で飛ばされたり、カバーを前後逆に置いたりすることがない。軸棒20から抜きとって、丸く巻いたカーカバー1を車上に回転させながら装着しているので、スピーディーに正確に楽にカバー掛けが行えるのである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の防犯警報装置付カーカバーの斜視図である。

【図2】防犯警報装置付カーカバーを成す、本発明の付属具の斜視図である。

【図3】本発明の貯水槽付カバー収納ケース、及びカバー回転装着用巻き直し器の斜視図である。

【図4】防犯警報装置付カーカバーの第1実施例を表わす図である。

【図5】防犯警報装置付カーカバーの第2実施例を表わ

す図である。

【図6】防犯警報装置付カーカバーの第3実施例を表わす図である。

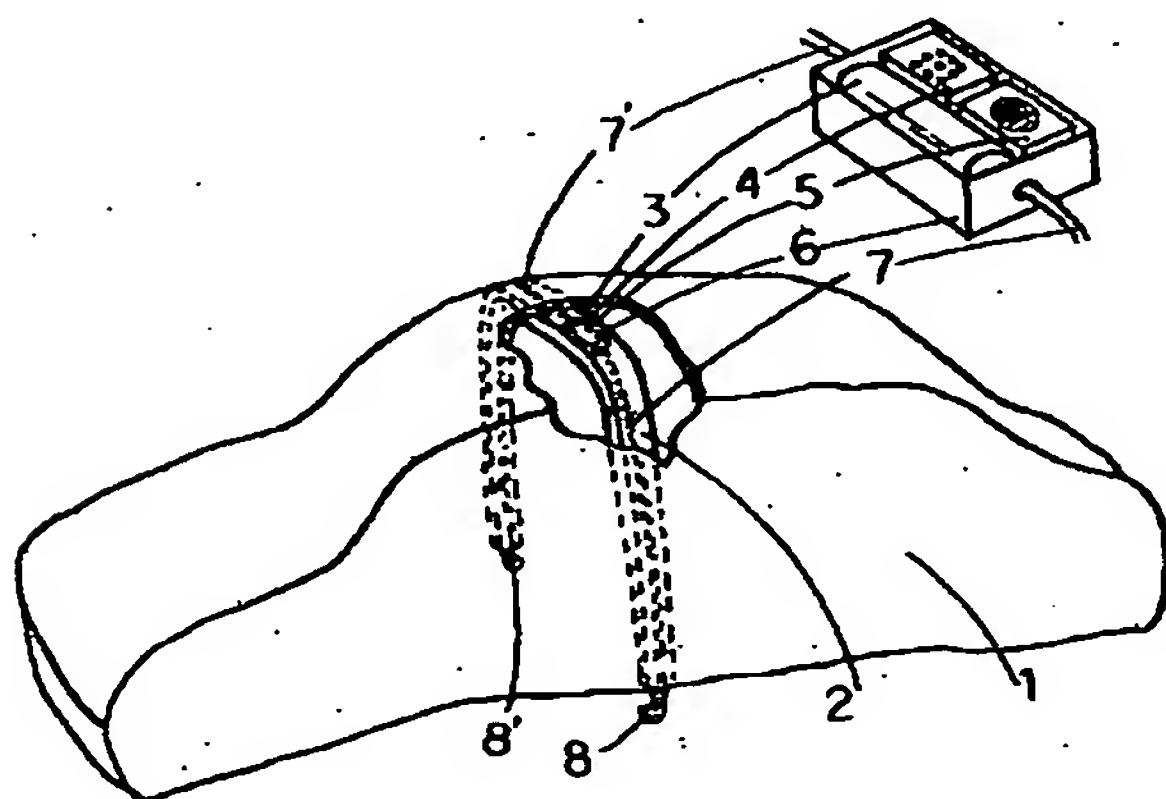
【図7】貯水槽付カバー収納ケースの実施例を表わす図である。

【図8】カバー回転装着用巻き直し器の実施例を表わす図である。

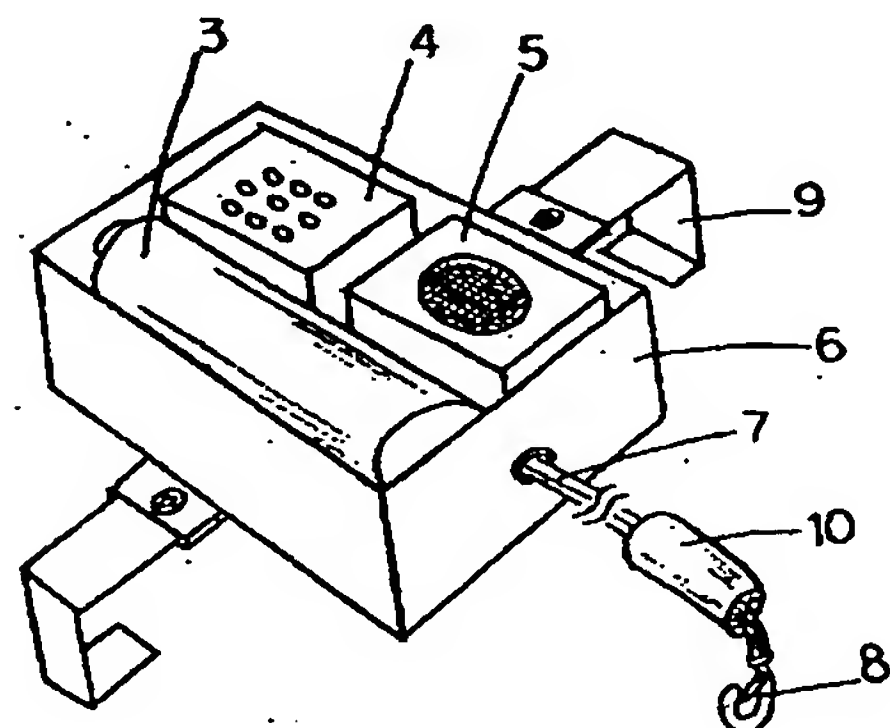
【符号の説明】

- |    |            |
|----|------------|
| 1  | カーカバー      |
| 2  | 筒          |
| 3  | 乾電池        |
| 4  | 警報ブザー      |
| 5  | 警報灯        |
| 6  | ボックス       |
| 7  | 配線         |
| 8  | スイッチ付鉤止具   |
| 9  | 車内掛止具      |
| 10 | 保護クッション    |
| 11 | カーカバー収納ケース |
| 12 | 仕切板        |
| 13 | 貯水槽        |
| 14 | 取水口        |
| 15 | 放水口        |
| 16 | ポンプ        |
| 17 | 蓋          |
| 18 | 軸受         |
| 19 | ハンドル       |
| 20 | 軸棒         |
| 21 | ホース        |
| 22 | 不法侵入者      |

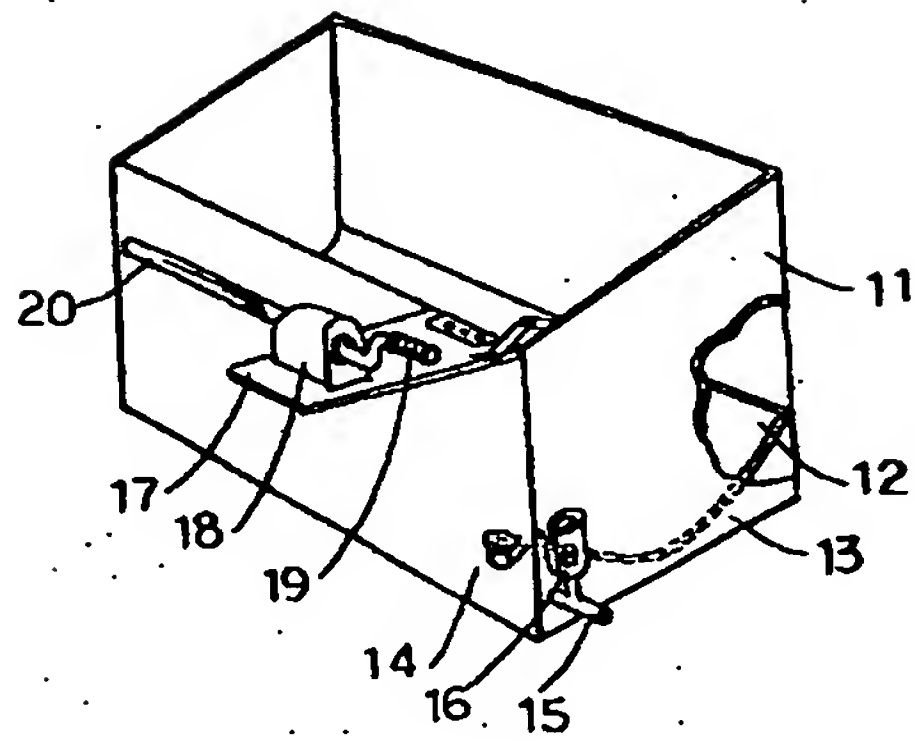
【図1】



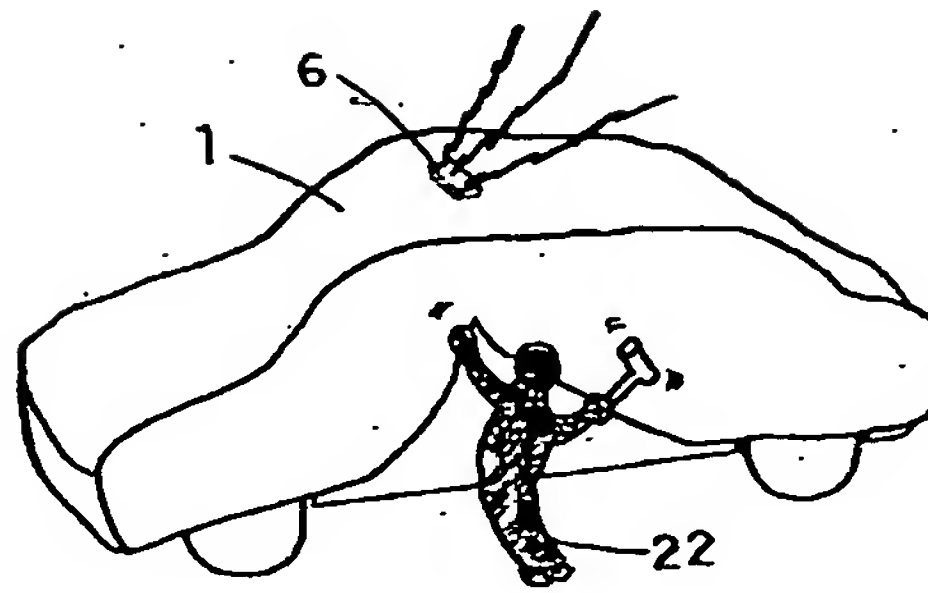
【図2】



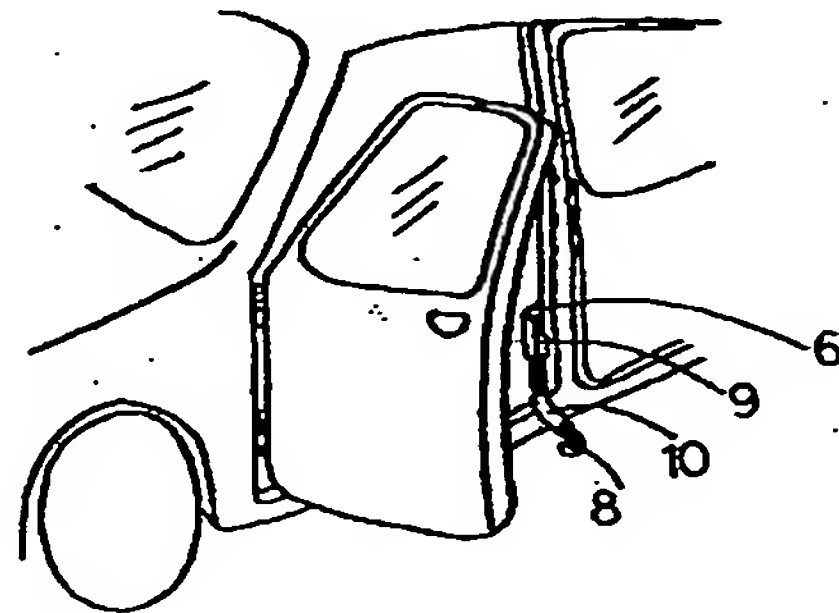
【図3】



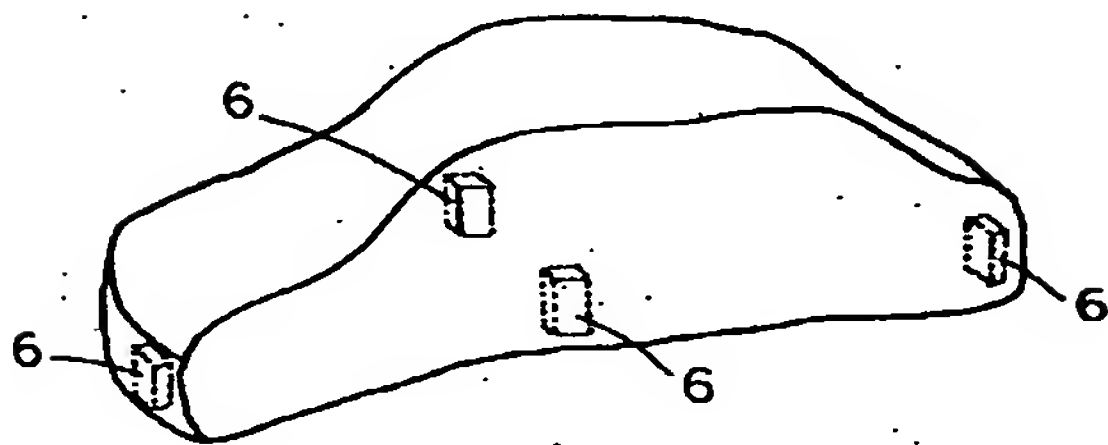
【図4】



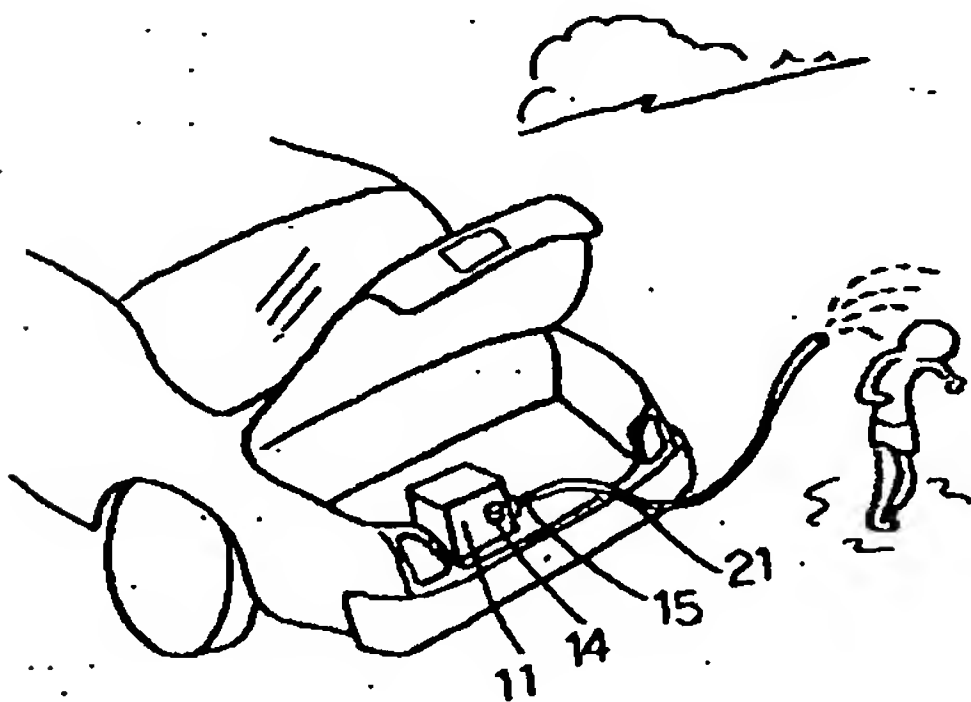
【図6】



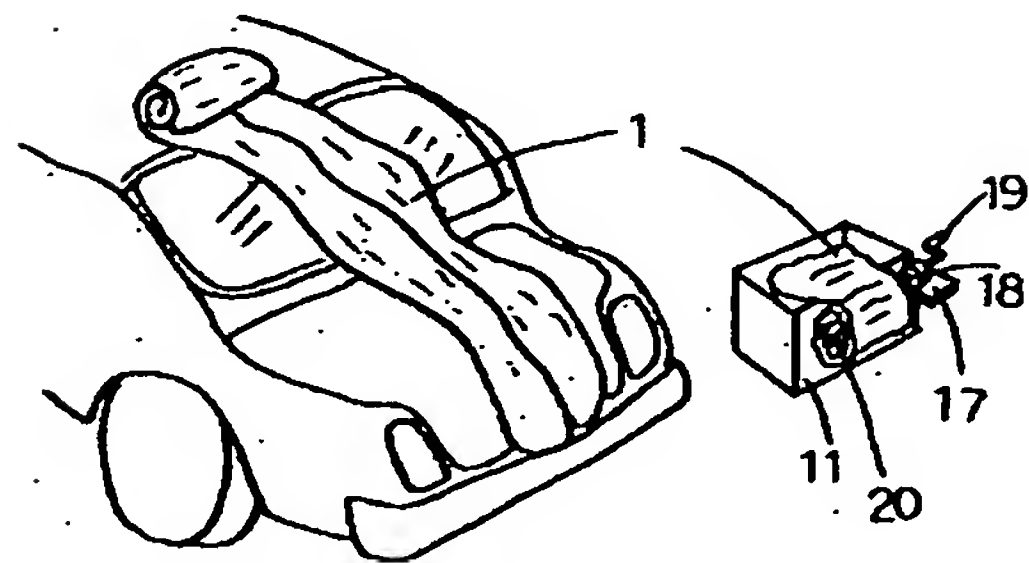
【図5】



【図7】



【図8】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☒ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**